清掃工場の人権・同和問題研修について

研修の様子（杉並清掃工場）

清掃一組では、工場に所属する全職員に対して、２年に１度のサイクルで人権・同和問題研修を実施しています。

平成２２年度は、外部講師として（財）東京都人権啓発センターの髙梨隆治講師をお招きし、「人権問題の正しい理解と認識のために」というテーマで、自治体（清掃一組）がなぜ人権問題に取り組む必要があるのか、ビデオ視聴や具体的事例の紹介を交えながらお話いただいています。

『職員一人ひとりの個性や能力が尊重された「活力のある職場」を実現し、地域社会との信頼を守り続けるために、私たちは人権問題に対して鋭い感覚と豊かな感性を磨く必要がある。』受講者は講師の言葉をメモしながら真剣に耳を傾けていました。

イザ！というときに備えて～清掃工場での消防演習～

①散水車を火災車に見立て訓練スタート

清掃工場では、万が一の災害発生時に、初期消火や避難誘導を効果的に行うため、自衛消防隊を組織し日頃から訓練を実施しています。

６月３日、渋谷消防署が行う危険物安全週間に伴う消防演習に渋谷清掃工場の自衛消防隊が参加しました。

訓練の最後には、藤本警防課長から「自衛消防隊とポンプ隊の連携がスムースに行われ、非常に有意義な演習だった」との講評をいただきました。

②自衛消防隊出動！

③ポンプ隊一斉放水、鎮火確認！